

## 第6回広陵町ごみ処理町民会議議事概要

開催日時 平成27年 1月26日(月曜日) 午後 2時00分～  
開催場所 クリーンセンター広陵 3階 研修室大

- 鍵谷会長挨拶
- 副町長挨拶

- (1) 視察研修のとりまとめについて
- (2) 候補地選定に係る資料説明について

- 最後に副会長及び副町長挨拶

### 以下議事概要

- ・ 4月からの平成27年度は具体的に候補地を選定する年であると考えている。今年度はこれまで学んできたことのおさらいとして、委員の皆様には十分確認をいただいたうえで、新年度から町が提案する内容に、忌憚のない御意見を賜り進めてまいりたいと考えています。
- ・ これまでに視察研修をしていただいた4施設の概要を、資料に基づいて説明。
- ・ 近隣施設(御所市・五條市・田原本町、葛城市の新施設及びその他市町の施設の現状)の状況を参考資料を基に概要説明。
- ・ 葛城市の新設計画において広陵町との広域で実施されている内容になっているがその概要は。
- ・ 本事業は循環型の交付金を受けるため、交付要件が人口5万人以上若しくは、400km<sup>2</sup>以上の面積がなければならないことから、当時広陵町は旧清掃センターの解体撤去を実施し、また、葛城市は當麻町・新庄町にある旧施設を1つにまとめる事業を行うため、広陵町の新施設の炭化物を葛城市の新施設で助燃剤として有効利用することを条件でそれぞれの事業を進めてきたものである。
- ・ ごみ処理プラントの建設については、1/3若しくは条件によっては1/2の国の交付金を充てないと財政的に大変厳しいので、交付金なしではなかなか実現しにくい

状況にある。

- ・ 資料の建設費にかかる規模単価は、建設費を1日の処理トン数で除した値であって、それぞれ条件が異なるため、建設に当たっての比較する参考値と考えてください。
- ・ 広陵町が今後施設を建設する際は、現在の葛城市との逆のケースとして、他市町と共同でごみ処理事業を進め、交付金を得られるよう進めていく。
- ・ 説明不足があったかもしれませんが、葛城市・広陵町の広域化の事業計画は県をつうじて環境省の認可を得たものであり、公表されている事業です。
- ・ 現在も続いている葛城市・広陵町の広域化事業が、今後広陵町が新たに他の市町と実施する場合、今の事業があるため、新たな事業に支障をきたすことはないと考えている。
- ・ 葛城市の新施設の建設計画の状況は、当初の建設予定地や建設予定時期などにおいて、大きく見直されてきた経緯があり、現在も建設予定地が国定公園の一部に係る等の問題から、建築面積等が大きく制約される等当初計画を変更し、まもなく着工される状況にあります。
- ・ 候補地選定に係る参考資料として提出した、本町と同処理方式の恵那市において検討された参考資料及び候補地選定で公募を行った事例・清掃施設計画概要等を基に処理方式別の建設費及び運営費等について概要説明。
- ・ 参考資料として提出された資料の中で、比較検討データが平成14年以降と若干古くなっているため、建設費も高騰しつつある状況なので、検討する上でも、もう少し新しいものを提出していただきたい。
- ・ 参考資料の恵那市の状況はRDF炭化で約10年間運営されてきましたが、近年RDFの需要が変わってきたため、今後15年間の処理方式について再度検討された結果、現有の炭化施設を改修し、現在固形燃料（RPF）化施設として運営されています。なお、広陵町も同様に固形燃料（RPF）への改修を検討しましたが、操業期限が15年間という条件から残り7年あまりではメリットがないため改修には至りませんでした。
- ・ 処理方式の中で焼却方式は、過去において飛灰が飛んだため問題が発生したことがあり、また、焼却方式は24時間運転でなければ交付金が受けられないのであれば、単独の場合、ごみ量からしても焼却方式を除くことも必要ではないか。

- ・ 焼却方式は運営当時と技術的にも改善され、飛灰の飛散という点では他の処理方式と変わらない安全なものとなっている。また、24時間運転による小さな焼却炉につきましても技術的には全く問題はないが、運転経費の点で精査する必要がある。
- ・ 熔融方式は運営経費がかかることが明確化してきていることを考慮するとRDF方式又は焼却方式に限られてくることになるが、もう少し最近の傾向を精査して検討していく必要がある。
- ・ 視察したバイオマス+焼却方式については、国のほうもエネルギーの有効利用という点から推奨している方式ではありますが、新しい希少な設備であり、現地では生ごみの分別等に大変御苦労なされており、発電量においても当初計画の半分にも達していない状況です。今後の状況は見守りますが、いまの段階では難しいように思います。
- ・ 候補地を選定する上で、一定の条件がありますので、米所である広陵町を考えると農地を守るため、これらを考慮すればおのずと候補地は山林等に絞られてくると思いますので、是非意見を尊重していただいて提案していただきたい。なお、候補地の選定についての議論は、4月以降の会議になる予定です。
- ・ 候補地を山林と限定すれば、おのずと場所が限られてきますので、検討当初は地目を限定せずに、適地を検討していただきたいと考えています。
- ・ 広陵町で候補地として、絶対に適さない地域を定めていってはどうですか
- ・ 候補地については、今後現実的に可能な場所で検討してまいります。
- ・ 広域的に難しいのであれば、単独に絞って検討を進めていくべきではという御意見はもっともですが、本町の周辺を見ますと、施設の老朽化が激しく、早急な建設が必要な市町が大半で、広域のお誘いがあればすぐにでも参加すると考えておられる状況です。今後もそういう意味では広域の検討は必要ですので、水面下ではございますが協議を進め、広域の提案もさせていただきますので、その際は御意見、御検討をお願いします。
- ・ 参考資料においてデータが古いため、現況との差が生じる項目がある。状況によっては根拠に疑問を持たれることにつながるので、なるべく新しいデータで、比較検討できるようお願いしたい。
- ・ 議事概要の提出をお願いしたい。
- ・ 次回の会議は2月16日月曜日開催予定ですので、御出席をお願いします。